

東日本大震災復興支援ボランティア活動 inふくしま



今出来る事を・・・

東日本大震災の被災地では、震災発生から二年半が経過し応急仮設住宅への支援も、全国各地から多くのボランティアが訪れ支援活動を行っていましたが、現在は減少しています。

本県は隣県というアクセスにも恵まれており、ボランティアの育成や震災を風化させないことを目的にこれからは支援のスタートと位置づけ10月10、11日の二日間、福島県新地町応急仮設住宅内の前田仮設サロンと大戸浜仮設集会所サロンにおいて榛東村ハーモニカクラブの方とボランティア活動を行いました。

仮設住宅サロンでは、ハーモニカの懐かしい曲に参加者の笑顔も見られ、また、サロン参加者との会話には震災発生時の話を聞かせていただき心を打たれる時間でもありました。

仮設住宅入居者の方は住宅が津波被害により居住できないため、やむを得ず仮設住宅で不自由な生活を送り、家族や親族を亡くされた方々が多く生活しています。

震災によって負った心の傷は決して癒されておりません!

「今、私たちに出来る事」を心に復興支援活動を行っていきます。

「いないものは何もありません・・・」 防災ボランティアしんとう活動

防災ボランティアしんとうと共催でボランティア研修を南相馬市小高区において11月17日に実施しました。

今回は被災地のボランティアと共に総勢15名で依頼主宅の家屋内及び倉庫内の清掃と不要物を集積場まで搬出しました。

小高区は避難指示解除準備区域に指定されており、ライフラインも電気のみ開通していますが現在も居住は勿論のこと出来ません。

現地社協の職員も作業現場を訪れ「いないものは何もありません・・・」
「全部必要な物です」とボランティアの方に語りかけていました。

水田並ぶのどかな町が原発事故で一瞬にして
変わり果てた町を目の当たりにしました。

**被災者とボランティアこの関係は
いつ逆転するかわかりません。
日頃の取り組みが大切です。**

